

## 特集序文

特集：「微生物社会学を基盤とした革新的水利用技術への挑戦」に寄せて

野村 暢彦  
NOBUHIKO NOMURA

持続可能な水利用の技術開発において、昨今のエネルギー事情さらには二酸化炭素削減のために環境低負荷、省エネルギー、省資源への取り組みが求められている。しかし、多くの施設で下水・廃水の処理に用いられている活性汚泥法による水処理技術は、そのプロセス設計や運転条件などは、先人達の努力により十分に最適化されており、完成の域に到達していると考えられている。そのような状況の中で、さらなる水処理効率の向上には、革新的な微生物制御技術の構築が必須である。本特集は、上記のようなコンセプトのもと、環境微生物系学会合同大会 2014 年で開催したシンポジウムの講演内容をまとめたものである。タイトルにあるように、革新的な微生物制御技術につながる最新の微生物（叢）解析技術、さらには評価技術、そして微生物社会学にもとづいた微生物制御にチャレンジしている若手研究者に執筆していただいた。この特集が、微生物研究と水処理技術の有機的融合さらに社会実装に寄与することを期待したい。

(筑波大学生命環境系)